

コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第173号

「はじめての春」

2025年4月21日

新年度がはじまってそろそろ1か月ですね。新しい環境に慣れてきた方も多いのではないのでしょうか。今月から天空の里に配属になった私もそのひとりです。4月のはじめの天空の里周辺は、満開のサクラと菜の花でとっても賑やかでした。最近では、新緑の季節に向けて、爽やかな風景への移り変わりを楽しんでいます。

さて、3月まで埼玉県こども動物自然公園で勤務していましたが、実はコウノトリの担当経験はありませんでした。先輩飼育員たちに教わりながら、日々「コウノトリってこんな感じなんだ！」と新鮮な気持ちで観察しています。

そして今までと大きく違うことといえば、「コウノトリ（と地域の生き物たち）とじっくり向き合う時間がある」ことです。担当動物の種類や個体の数が多いと、どうしても1種ごと、1頭ごとに集中できる時間は限られてしまいます。



1本足でまったり中の空



羽づくろいが始まりました

天空の里では、目視と観察ビデオでコウノトリの様子を終日チェックして記録を取っています。動物の飼育には観察と記録がとても大切です。記録を残しておくことで、後々に気になることがあったとき、「この頃に同じようなことがあったはず！」とさかのぼって調べることができます。特に繁殖シーズンには、ヒナの成長具合や親の子育ての様子を他のコウノトリの記録と照らし合わせ、その時の状況も踏まえて飼育方法を検討しています。毎日の観察と記録、そしてベテラン飼育員の経験など……、たくさんの情報を整理しなければならないのは結構大変です。

この春は空と花と天空の里にとって、はじめての子育ての真っ最中。今のできごとのひとつひとつも大切な情報になります。ヒナが無事に成長していく姿を観察・記録できることを楽しみに、しっかり見守っていきたいと思います。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：寺内